

## 混和剤の使用目的と効果

- (1) 保水性の向上 : ドライアウト防止(ヘアクラック防止)  
 (2) 接着力の向上 : 特に下地との接着力の向上  
 (3) 防水性の向上 : 透水・吸水率の低減、中性化・塩害防止  
 (4) 靱性の向上 : 耐衝撃クラック性の向上  
 (5) 減水生の向上 : 流動性の向上(使用水量の低減による強度向上)  
 (6) 耐薬品性の向上 : 耐水性、耐酸性、耐アルカリ性  
 (7) 耐磨耗性の向上 : 磨り減り、防塵性の向上

## &lt;混和剤の種類と特徴&gt;

主な特性	品番	主成分	固形分%	粘土 Pa·s	主な用途
高強度	DT-778	SBR	45	0.1>	コンクリート、吹付モルタル混和接着増強剤
高接着	DT-786	アクリル共重合	45	0.1	
保水性	DT-939	アクリル共重合	45	1.0	プライマー、その他
可撓性	DT-791	アクリル共重合	50	0.1	コンクリート、吹付モルタル混和接着剤
高接着	DT-793	アクリル共重合	50	0.2	
耐クラック性	OH-422	ウレタン共重合	100	1.1	プライマー、その他
高流動性	DT-785	アクリル共重合	45	0.6	床仕上げモルタル混和剤。プライマー、その他

## &lt;モルタル物性&gt;

セメント 混和剤	圧縮強度 MPa	曲げ強度 MPa	破断歪 10 <sup>-4</sup>	引張り強度 *1 MPa	接着強度 *2 MPa	透水性 g
未使用	28	3.4	8.0	2.0	0.3	35.0
DT-778	26	8.5	23.8	3.8	2.3	5.8
DT-786	26	8.0	18.6	3.5	2.4	5.4
DT-939	26	7.8	15.5	3.5	2.1	6.5
DT-791	20	3.2	75.2	1.2	1.2	4.9
DT-793	23	3.9	62.2	2.2	2.1	5.0
OH-422	18	3.0	82.3	1.8	1.8	3.0
DT-785	25	8.0	23.5	3.5	2.5	5.4

試験方法: JIS A6203 \*1: ASTM C-190-85 \*2: JIS A5304 / 建研式

## &lt;モルタル配合&gt;

- ・セメント: 砂(6号:4号=1:2): 混和剤: 水: 消泡剤  
= 100:300:(10~22.2):(50~38.8):0.02
- ・セメント: 砂 = 1:3      ・セメント: 混和剤 = 10:1      ・セメント: 水 = 2:1
- ・消泡剤 = BYK-031      ・養生条件 = 20、65%RH、4週間